

(2)(公衆栄養研修)フォローアップ調査回答合計集計表

Q1. 本研修は役にたっていますか。

回 答	派遣元	研修生
1 たいへん役に立っている	14(31.8%)	27(49.1%)
2 役に立っている	26(59.1%)	22(40.0%)
3 どちらとも言えない	3(6.8%)	5(9.1%)
4 役にたっていない	1(2.3%)	1(1.8%)
5 全く役にたっていない	0(0.0%)	0(0.0%)

SQ1-1 (Q1で1, 2を選んだ方へ)どのような点で役に立っていると感じますか。(自由記載)

知識以外にも研修でできたネットワークを有効に活用していること。

研修で習得した「食品の栄養成分表示」「特定給食施設」等に関する知識技術を生かして、保健所によって栄養指導業務を行っている。また、研修内容を本市の行政栄養士に広く伝達することで、栄養士全体の資質の向上を図ることができ、市民の健康づくりに役立っている。

定例会議での報告、研修報告を基にしたグループワークを実施することで、他職員のスキルアップにもつながった。

特定健診、特定保健指導の開始に当たり、担当者が企画立案を学ぶことを通して具体的な実施・評価方法の参考することができた。

地域でのコーディネーターとして活躍するほか、県下各市町行政栄養士へ伝達講習を行い、栄養士全体のレベルアップを図っている。栄養調査の解析についての研修も含めて欲しい。

①栄養改善業務を推進する上で計画の提案・企画に役立つ研修であった。県内の栄養士のリーダー的役割を果たしている②他県栄養士とのネットワークができ、情報収集等に役立っている③また今年度新任栄養師支援プログラムを作成する計画であり、そのメンバーとして活躍中である。

①公衆栄養に関する様々な最新の情報を第一線で活躍している講師から学ぶことができる②日常業務で課題に感じていることを、研修期間中に掘り下げて考えることができ、今後の業務に生かすことができている。

講師が充実しており、行政栄養士に求められている公衆栄養診断(地域診断)に基づく、公衆栄養計画・評価の考え方が習得でき、業務改善につながっているため。

行政栄養士としてこの研修はその時々幅広いテーマが厳選されており、研修終了後、研修会などに内容を活用している。

行政栄養士としての自覚と施策を学ぶことができた。

行政栄養士として必要な公衆栄養、地域栄養改善活動のための地域診断・栄養に関わる健康づくりのリーダーとしての育成に役立っている。

職員が自ら企画立案ができ、安心して任せられるようになった。

専門職の資質向上等

研修終了後に県内の行政栄養士に伝達講習を行い、業務上において、健康づくりのコーディネーターとして活躍している。

栄養業務に関する最新の知識やスキルを習得でき、事業の企画・評価を行う上で大変役立っている。

研修翌年の異動で病院勤務となり、行政を離れましたので、地域診断を行い、事業を立案、計画、実施、評価するという研修の主目的であった内容は残念ながら活用できていませんが、医療制度改革の背景や、特定健診・指導について学んだ事柄は生活慣習がもととなって訪れる患者さんの指導等に生かしていると感じています。

この研修は参加した受講者の資質向上に役立つことはもちろんのこと、特定検診保健指導の実際など、最新の情報を得ることができ、各市町行政栄養士の研修会などで、活用することができた。

計画・実施・評価の視点が強化されたことを感じるため。

公衆栄養の最新の知識・情報が習得でき、市町村支援の観点からも実践に活用している。

行政栄養士の役割をになうためには、健康づくり及び食生活改善に関する実態把握、事業の企画立案、専門職域における人材育成など幅広い知識、連携能力を必要とする。そのような視点で教育訓練は再教育として資質向上に役立った。

研修受講者が最新の公衆栄養活動の考え方や方法論を身につけ、日常業務に積極的に生かすと共に、県内の行政栄養士への伝達研修等を通してその知識や技術が広められている。

他県の取り組みを知る事ができる。科学院教授によるエビデンスに基づいた知識を習得できる。

必要性を増している健康危機管理時の栄養・食生活支援について、先進事例を取り入れた研修の企画など、リーダー的な役割を果たしている。

公衆栄養コースを学んだことをベースに、熊本県における特定健診、特定保健指導の研修企画実施評価や子供の頃から生活習慣予防に率先して取り組んでいる。

業務と大いに関連のあるため。

幅広く知識・技術を習得し、現場及び本庁における栄養士のスペシャリストとしての育成ができる。

最新の知識と技術が得られることと、他県と情報交換できることが、研修生にとっても県全体としても役立っている。

最新の知識・技術を学んだことにより、日々の業務に対し、自信をもって対応している。

研修で企画した事業を実際の新規事業として提案できた。

市民と一体となった健康づくり活動を推進している。

行政栄養士としての基礎知識から現在のトピックスまで、多岐にわたり、業務にすぐに役立つ内容。

伝達講習会を行うことにより、派遣者の理解度のアップと共に、他職員の知識向上につなげる。

①情報統計に関する研修②他県の状況や課題について情報交換が十分に行えたこと。

公衆栄養業務全体の評価を行い、特定給食施設の指導や健康づくり応援店の普及・啓発に役立っている。

研修終了後は早いうちに市町村まで報告伝達し、レベル向上に努めている。視野が広がり、視点のつけ方も鋭くなった。以前にも増して前進するパワーが強くなったということは栄養士全体の底上げにもつながると考える。

研修終了後まず保健師職員へその後市町村栄養士へ報告会を開き、最新の情報をわかりやすく伝達していた。P.P等を作成し、活用してもらうため、配布もしている。最前線の市町村にとっては即使える情報を使える形でもらえることはスムーズな業務につながると考える。全国に情報交換しやすくなるのは大きなメリットである。

地域診断

行政栄養士活動に関して、積極的に意見を発見するようになった。研修会に参加して自信をもって業務にあたっているように見受けられる。

考え方。特に制度が変化する時の研修だったため、勉強になりました。

行政としての動きや政策についての視野が広がった。全国にネットワークができたことで、改善点などの参考になる。

事業評価のすすめ方や事例検討方法としてのSWOT分析やケースメソッドといった手法を学べたことは有意義でした。県型の保健所なので、対人サービスよりもネットワーク作りや対施設への指導が中心となるので、このような分析や課題解釈のための実践的な手法が役立っています。

新しく始まる制度について詳しい解説が前もって制度をよく理解して取り組む準備ができ助かりました。管理栄養士の立場がよく理解された環境で尊重され期待を込められた内容で講義が進められていたことから、皆がやる気を引き出されたと思いました。一度も受けていない人にはぜひ2回目3回目もお勧めしたいです。

地域診断とSWOT分析。地域をみる指標として役立っている。行政マンとして、自分の尺度だけではいけないということを痛感しています。

公衆栄養についての計画を考えるにあたり、データの読み取り方から計画の栄養、実行、評価にいたるまでの考え方等。。

①講師の方々や研修生とのネットワークが作れたこと②国の施策や最新の情報が聞けたこと③今後の栄養施策の方向性を考える上で参考になったこと。

公衆栄養活動を実践するにあたっての最新の知識を、中央の最前線で活躍されている先生方から直接聞くことができ、幅が広がったと思う。また、地域診断・栄養計画・評価をグループで演習できたことは、現在のところ保健所での具体的事業よりも、市町村への支援を行う際に特に役立っている。

①事業計画・実施・評価すべてにわたり役立っています②論文作成等にも非常に役立ちました(佐伯区の乳幼児の食物アレルギー関係)。

現実的にはH19. 4～病院へ転勤となり、「特定保健指導」や「公衆栄養政策」などとは直接な関わりはなくなったが、疫学・EBM食事摂取基準などは非常に役立っている。また、国の研修ならではの様々な講師の方々からの講義の中の言葉が実際の仕事の場で思い出すことも多い。それに仲間が全国に増え、悩みを相談しあったり、資料を交換し合ったりできるようになったことも大収穫であった。

研修翌年の人事異動で病院勤務となり、行政を離れたので、研修で学んだ地域診断を行い、地域の実状を分析した上で、政策を企画立案・実施・評価するということは実践できていませんが、医療制度の改革について得た知識・情報は生活習慣が「原因となった疾病で訪れる患者さんに接し、指導をする際は活かしている」と感じます。

①行政栄養士の行政職としての役割を常に意識しながら、業務に取り組むことができている②食事摂取基準や食事バランスの活用がしやすくなった③各種事業の計画・実施・評価を行う際に研修内容が大変役に立っている。

①現状分析の大切さや仕方など、評価方法などについて②統計学の基本から学ぶことができたこと③自分の知識のレベルを認識できたこと

医療制度改革における管理栄養士の役割について、その時の最新の話を伺い、それにつながる地域診断の演習を行えた事で実感でき、現在、特定保健指導の業務、また地域と職域の連携事業の推進に役立っている。

研修時の栄養行政にまつわる最新情報、中でも指針等が作られる際の裏話や経緯なども聞くことができて、地域に広げていく際に目的をより具体的に伝えることができた。また、全国の同じ立場の行政栄養士と知り合うことができたので、現在でも情報交換をしている。

一緒に研修した研修生と研修後も交流があり、仕事に必要な情報を得ることができ、業務に役に立っている。

平成19年度に特定健診・特定保健指導に関する企画・立案に関与し、20年度は保健年金課所属となり、事業実施、評価を担当している。研修で学んだことが現在の業務に直接役立っている。

①制度の変わる年だったので、タイムリーな情報が得られ、職場で還元できた②公衆衛生に携わるものとして必要な知識や心得を広く学べ、業務遂行に役立つものだった。

研修を終了して私は科学的根拠に基づいた考え方をを行い、事業を計画、実施評価していくことの重要性を強く感じました。身近なデータを活用して事業展開を考えています。また、行政の立場として他機関他団体との連携の強化を目指しています。

研修に参加させていただいたことが自信につながっていると考えます。事業等を考えたり、迷ったりした時には紹介された書籍を読み返してみたり、講義の中で先生方が伝えて下さったことを頭の隅において考えるようにしていると先に進める気がしています。研修に参加後は不安であったことが軽減された気がしています。

医療制度改革を始めとする時事的情報及び第一線の講師陣による講義により得られた知識は、立ち入り実施・監督等での施設栄養士に対する指導上役立った。またグループで作業する実習体験により、考え方、視点のポイントなど新しい刺激を受けた。PC処理もこなせるようになった。

公衆栄養に必要な指針等について、最新のエビデンス等を学ぶことができ、指導の場面や様々な計画策定の際(食育計画等)に役立った。特に地域訪問等については、食育策定のアンケート項目等に活用できた。

①統計の基本的な考え方を学べたこと②事業の企画立案・評価の一連の流れを具体的に学べたこと
研修での仲間にも他都市の状況を聞く事ができること。

①栄養調査などのデータの分析やデータの見方などで参考になっております②公衆栄養における計画・実施・評価まで研修内容を活用して実際に取り組んではいないのですが、今後少しずつ学んだ手法を取り入れていきたいと思っております。

エビデンスに基づき、業務を遂行する考え方を身につける事ができ、考え方そのものを変える事ができました。現在は病院に異動になりましたが、その考え方は病院でも役立っております。また情報収集の必要性・具体的方法も教えていただいたことも役立っています。

研修等の企画等に役立っている。

①仕事への姿勢②プレゼンテーションの大切さ

①業務の企画立案の際に、目的・背景・資源・連携・協働そして評価にわたり、受講前に不足していた広い視点で計画が立てられるようになった②また社会の状況、トピックス、制度等、現場では得られない(気がつかなかった情報)情報へのアクセスや何が必要か等の多くの引き出しを今でも活用している。

地方では聞くことのできない第一線で活躍中の方々が講師となられ、その考え方を拝聴できたことはその後の事業の進め方を考えた際に大きく役立っています。指針等の基本的な考え方、事業の方向性など、学ぶことが多くありました。

①日常業務を効率よく行うようになった(関係者・他職種との連携、事業評価の実施)②数字を見る時に、統計学的にどうかという視点で考えるようになった。

研修受講により新たに得た知識を現在担当している業務に直接活かせる場面は残念ながら少ないが、自分のスキルアップにより、見方、考え方が変化した。

①業務に関する最新情報(H19では医療制度改革、離乳)②業務に関する情報(特保についての花王見学・説明)③他県・自治体職員との情報交換・交流

評価をすることにより、より良い業務へつなげていくことなどの視点を持って日常事業に取り組むことなど、発想の転換を図れたこと。仲間ができたこと。

保健所の管理栄養士がコーディネーターとして市町や在宅栄養士を支援し、他機関と調整していくプロセスや状況把握方法など。広い視野をもって業務に取り組むことができるようになりました。

①全国からのメンバー(研修)とのつながりにより、相談することができる②保健統計の考え方、やり方が身についた③疫学的考え方、評価の考え方を知り、他者への説明に役立っている④何よりモチベーションがアップした。

仕事への取り組みをいろいろな角度から見れるようになりました。受講した内容そのものというより、自分達の仕事の可能性を広い心で見れるようになりました。

現状把握のためにアンケート調査を実施、またはデータ分析する際に受講した内容を生かしてできます。同様に町村からの相談についても対応できるようになり、大変役に立っています。

職種としての専門知識と行政としての考え方や取り組みの視野が広がった。また、受講により人的ネットワークが広がった。

事業計画を行う上での確に判断が行えるようになった。仕事が効率よくできるようになった。

①行政栄養士としての基本的な考え方が整理された②実習を通して地域診断や栄養計画策定の手順を具体的に把握することができた。

幅広く知識を得ることができ、また即事業に役立つカリキュラムであったと思う。研修前と比べて事業の組み立て方や視野が広がったと思う。

研修では行政栄養士に必要な内容を幅広く様々な角度から学ぶことができ、さらに知識が深められたものや、また自分が苦手とする分野(例えば統計など)を強化することができ、スキルアップできたと思います。幅広い知識は地域のコーディネーターの立場で健康づくりを進める上で今後も役に立つものと思います。

研修で学んだことをすべて役立てているとはいいい切れませんが、特定健診保健指導などの最新の情報は市町の栄養士の方達への情報提供ができました。また、他県の行政栄養士の方とのグループワークを通して、自分自身の視野の狭さを認識し、レベルアップの必要性を痛切に感じ、日々の業務をいかに効果のあるものにしていくかを以前にも増して考えるようになったと思います。

地域診断

業務を学会等で報告するにあたって考え方やまとめ方、統計の手法などが役に立っている。
事業の基本的な考え方や計画・評価の方法について学んだことを自分の業務に役立っています。
①最近情報などがわかるから②基準や指針のものの根拠がよく理解できるから。

SQ1-2(Q1で4を選んだ方へ)役に立っていない理由

SQ1-3(Q1で5を選んだ方へ)全く役にたっていない理由

Q-2. 今後も本研修に職員を派遣したいと思いますか。

回	答	派遣元
1	ぜひ派遣したい	25(56.8%)
2	派遣したい	14(31.8%)
3	どちらとも言えない	5(11.4%)
4	派遣したくない	0(0.0%)
5	絶対派遣したくない	0(0.0%)

SQ2-1(Q2で4を選んだ方へ)派遣したくない理由

異動で病院へ

SQ2-2(Q2で5を選んだ方へ)絶対派遣したくない理由

Q3. 科学院の研修全般へのご意見をお聞かせ下さい。(自由記載)

毎年、最新の情報や課題を盛り込んだカリキュラムとなっており、今後とも内容充実に向けての検討をお願いしたい。

公衆栄養に関する研修の回数を充実していただきたい(短期(1週間以下)新任期など)。
派遣期間として2週間程度の研修が望ましい。

現在の公衆栄養コースは1ヶ月間と研修期間が長い為、このコースとは別に短期間コース等、研修を選択できるような体制をとっていただけると受講しやすいと感じています。

受講機会が限られているので、インターネットを使用して希望者が多く、受講できる機会を増やして欲しい。

もう少し短いタイプの研修もあってよいと思う(勤務年数別やテーマ別)。
少数職種であるため、県独自で研修会を持つ時などに、講師を派遣してくれる制度があると良い。
今後とも専門職を人材育成の視点から、各種研修に派遣したいと考えています。

4週間も職場をあけるのは、本人や職場にとっても大変である。まして本県の栄養士は一人配置であり、研修会へ出すのは大変だった。1週間×②クールぐらいの研修を企画していただきたい。

行政栄養士の専門研修はとっても少ない中で、とても貴重な研修会だと思います。今後も継続して行って頂きたいと思います。

派遣したいと思うが、予算面及び採用者が長年ないため、派遣が難しいと思われる。短期研修で有効なもの開催を希望する。

次代に即応したカリキュラム検討、受講しやすい時期など今後とも継続した開催をお願いします。

時代に応じた研修テーマを設定しているのが魅力。公衆栄養関係では、特定給食施設指導、食環境整備栄養調査の活かし方などテーマを絞った短期コースの研修会も定期的にあると良い。

現場での問題点を解決できるような実践的な研修に心がけていただきたい。

2月に予定されている健康・栄養調査の研修のように公衆栄養に関して短期間の研修があると良いと思う。

研修の具体的なカリキュラムについて、研修初日に受講生に配布されているが、できれば派遣元にも同時にお知らせいただきたい。カリキュラムの内容を見て、受講生と共に、ある程度の情報が共有できると思う。

希望者にできるだけ機会を与えて欲しい。

出張の手続きの関係上。受講決定を早く送付いただきたい。

業務負担を考えると研修期間がもう少し短いと参加しやすい。

①国民健康、栄養調査及び県民健康、栄養調査データを活用した栄養関連施策に関する研修の開催。②保健所管理栄養士に対する資質向上のための研修の開催。

長期研修は予算や業務の面で負担が大きかった。ぜひ短期で受けることのできる内容を検討していただきたい。

研修全般において、講師の選任等、参考になる事が多い。

Q-2. 本研修を他の人に勧めたいと思いますか。

回 答	研修生
1 強く勧めたい	35(63.6%)
2 勧めたい	14(25.5%)
3 どちらとも言えない	5(9.1%)
4 勧めたくない	0(0.0%)
5 絶対勧めたくない	0(0.0%)

SQ2-1(Q2で4を選んだ方へ)勧めたくない理由

--

SQ2-2(Q2で5を選んだ方へ)絶対勧めたくない理由

--

Q3. 科学院の研修全般へのご意見をお聞かせ下さい。(自由記載)

週5日でなく、週4日であると、保健所業務ができてよい。遠方であると不可能であるが、通うことができるところはありがたい。

管理栄養士は、一人体制などの配置が多く、長期での研修は、行きにくい、事業の関係で参加できにくい現状がある。今回15年越しで希望がかないとも感謝しています。中野区では、他所の応援体制がとれたが、期間を短くして、前期と後期に分けるなどすると、多くの方が参加しやすいと思った。

Q-1で書いたように実践的な手法を学べる機会が増えると良いと思います。

快く研修に出席できるような配慮もあり、ありがたく思いました。人員削減が計画される職場環境の中でも、必要とされるよう今回のような研修を積極的に受講して、職種ごと資質の向上に努めなければならないと思いました。大変お世話になりありがとうございました。

自治体の本庁対象者の研修が多いように思われます。しかしながら、議会对応に追われる場所ゆえに、出席するのが難しいのではないのでしょうか。

約1ヶ月間、研修に集中して、これまでの取り組みの見直しや今後の方向性等、じっくり考えられる貴重な時間だと思います。今後も長期の研修を計画してください。

本研修で得た知識やパソコン活用の技術は勿論ですが、同じ研修に参加した多くの全国の方々と仲間作りができたことも、大きな収穫でした。現在でも連絡をとり、必要な際は情報を得たりしています。本課程はぜひ継続していただきたい研修です。

研修、終了後もいろいろなことが頭に残っています。例えば、講師の先生のパワー、仲間、寄宿舍のこと等。本当に参加できたことは「一生の宝物」になったと思います。ステップアップの為、再び参加したい気持ちでいっぱいです。

前半は非常に有意義だった。しかし、後半の公衆栄養プログラムの4日間はまだもう少し効果的な進め方を検討していただきたい。自分が「今何をしているのか」がわからなくなり、4日間同じことだけ繰り返しているような印象であった。(また宿泊所の台所をもう少し調理できる場所に変えていただければありがたい。各部屋に炊事できる場所があるとか…)。

科学院での研修は最新の情報・技術を身につけるための貴重な場であり、また、多くの受講生と知り合い、他県での状況を知る情報交換の場にもなっていると思います。今後もタイムリーな内容の研究を企画していただければありがたいです。宿舎についても快適な空間でした。

他の研修をまだ受けていないので、公衆栄養のコースのみですが、最新の内容だったので良かったと思います。

研修では大変お世話になりました。

他県の状況を情報交換でき、研修会後もその人脈を生かした業務が遂行でき、大変良かったと感じている。しかし、研修開催日が大変長かったため、その年度の業務に支障をきたした感がある。もう少し短いとっとと参加しやすいと思う。

講師の先生方もそれぞれの分野でトップの著名な先生で最新の情報を提供・指導していただき、更に研修後も他県の受講生とも情報交換ができ、研修の組み立てが素晴らしい。

とても先を見据えた研修内容になっていると思います。本当に充実した内容だったと思います。ありがとうございました。

日常業務とまったく異なる環境で研修を受けるため、更に自宅から離れ、100%研修に集中できるのは素晴らしいと思う。府県レベルと市レベルで仕事の内容も異なることもあり、グループ分け等はその辺りも加味していただいていたが、更に事前資料的に連携のとれることがあっていいのではないかと思われました。

国の方向性に沿った最新の知見を多く学べる研修を企画して頂きたい。

①通信教育の内容を充実させて欲しい②もう少し期間の短い研修があってもいいかと思えます。

予算の関係や人員により、参加が難しい場合もありますが、他県に情報交換できる仲間ができ、とても良い機会でもありました。今後もこのような研修が開催されると良いと思います。

プログラムもよく組み立てられ、最新の情報をタイムリーに教えていただき、またその手法も良く、大変良い研修でした。この研修がなければ、今の自分はないと思っております。これからも継続していただき、一人でも多くの方に参加していただきたいと思えます。大変お世話になりました。

育児休暇中のため、「どちらともいえない」とQ1をしましたが、とても保健所管理栄養士向けに栄養士には役に立つ研修だと思えます。ここで終わりではなく、今後もいろいろな研修があると大変ありがたいと思えます。

長期間、職場を離れることは、現場に大きな負担をかける事になるが、受講者の立場としては、職場を離れることによって視点が変わり、研修の収穫は大きかった。

公衆栄養コースは2回目の受講になるが、1回目とは異なる緊張感があり、学びの姿勢も自分自身の経験、現実を踏まえて積極的になれた。やはり1回のみでなく、受講後のフォローやスキルアップ研修を継続して受講できると良いと思う。

期間は1ヶ月でいいですが、時期は夏場以外の方が助かります。

行政栄養士だけでなく、他部門の栄養士にも平等に機会があると良いと思えます。

約1ヶ月間、トップクラスの講師の先生方から、ご指導を受けることができ、大変勉強になりました。最新の情報を詳しく聞くことができ、また他県の方との情報交換ができることは大変有意義です。

最新の情報を含め、必要なことが学べるのがありがたい。

長期に多方面から受講できると本当にためになります。時間制約が厳しい人には悩むところのようです。通信制もも含めて3か年位かけて単位をとるものも良いのではないのでしょうか。

実践に沿った研修内容でとても良いと思っています。また機会があれば、積極的に受講したいと考えています。

有名な先生方からご講義いただき、ありがたく思っております。

①時間割が基本から始まり、日を追う毎に前にやったことに関連して積み重ねられていくように組まれていたため、大変わかりやすい研修になっていた②実習の時間が多いので、具体的方法が理解しやすかった。

行政栄養士研修として短期間でも良いので、今回の研修を基礎とすれば、ステップアップ研修を検討していただきたいと思います。

長期研修は予算や業務の面で負担が大きかった。ぜひ短期で受けることのできる内容を検討していただきたい。

1回限りの研修でなく、フォローアップ研修を企画していただきたい。また上司の推薦がなくても受講可能なシステムがあれば、もっと研修が受けやすくなると思います。

研修が予定時間より大幅に延長になるのは困ります。ちゃんと時間厳守して下さい！

研修主任の総括的コメント

公衆栄養研修修了生66名(H18:36名、H19:30名)の回収率は研修生78.8%、派遣元65.2%である。「研修の役立ち」について研修生、派遣元ともに9割が「役に立っている」と回答し、研修生に派遣元以上の「大変役に立っている(5割)」割合が多い。主な内容として派遣元では県や各市町村の行政栄養士に伝達講習を行い、栄養士全体の人材育成、市町村支援に役立っている、リーダー役を果たしている、健康づくりのコーディネーターとして活躍している、データを読み込む公衆栄養診断に基づいた公衆栄養・事業計画の企画・評価の面で任せられるようになった、自信を持って、率先して、やる気を持って学んだことを活かしながら業務をこなしている、他県栄養士仲間のネットワークで情報交換を行っている、他職員のスキルアップにつながっているなどである。本人も同様の意見が多いが、演習で苦しんだことが実践面に役立っている、一層やる気が出た、楽しく、効率的に仕事ができるようになった、情報交換が出来る仲間作りの喜び等であり、本研修の目的に沿った回答が得られた。「役に立っていない」、「どちらともいえない」の多くは研修後に病院勤務になったものであった。しかし、病院勤務や保健年金課に転勤しても研修での学びが大変役立っているとの意見も多い。今後の本研修への職員派遣について9割が「ぜひ派遣したい(6割)、派遣したい」と回答、研修修了生も9割が「強く勧めたい(6割)、勧めたい」との回答である。自由記載の派遣元の意見では、継続希望者が多いものの、勤務年数別の研修、テーマを絞った短い研修、インターネットを活用した研修またもう少し短い期間の研修を希望する意見があり、予算面や1人職種の厳しさが伺われる。研修修了生の意見でも予算や業務を考慮して期間短縮を希望する意見、また受講後のフォローアップ研修やステップアップ研修を希望する意見、2回目の受講者からも継続して受講できる研修を希望する意見があった。1ヶ月(26日)の時間割は基本から始まり、積み重ねの内容、また演習が多いために理解しやすかった、集中することが出来た等現状を評価する意見も多く、研修期間や研修スタイルについては今後の検討課題である。

個別質問

(公衆栄養研修)フォローアップ調査

Q1.修了生の現在の職務を教えてください。

千葉県君津健康福祉センター(君津保健所)管理栄養士
主幹、管理栄養士、保健所、栄養改善、健康増進業務
栄養管理・給食管理
公衆栄養業務全般・健康づくり業務・集団給食施設指導
保健福祉部 保健医療局 健康推進課 歯科栄養グループ主査(健康増進)
(行政栄養士業務)①特定給食施設栄養管理指導②保健機能食品及び栄養表示制度に関すること③
栄養改善の推進(人材育成・調査等含む)等々
①食育推進事業(職の環境整備・食育サポート事業)②特定給食施設指導(病院立ち入り調査、児童福
祉施設、業者指導、研修会)③国民健康栄養調査④市町等栄養業務検討会⑤介護予防事業
病院勤務、給食科、主任専門員
保健福祉分野での栄養指導
保健センターにて対人サービスに従事
管理栄養士として特定給食施設の指導等
終了時と同じ、行政の管理栄養士業務
健康福祉センター、健康増進課主任として、健康づくり(地域職域連携推進事業)、特定給食施設指導、
管内行政栄養士支援、食育ネットワーク作り等を担当
県庁、生活習慣病対策(特定健診・特定保健指導関係用務・メタボリック予防戦略事業etc)・国民健康・
栄養調査担当、ポピュレーションアプローチ(食環法の整備事業etc)
給食、栄養管理業務
栄養士(主任)
保健所・保健センターの管理栄養士(受講時と変わっていません)
終了時と同じ、行政の管理栄養士業務
公衆栄養(保健福祉センター)
茨城県つくば保健所、健康指導課係長
保健所栄養士
H20年から国保部門での特定健診・特定保健指導を担当(企画・立案・事業実施・評価)
①保健所栄養・健康づくり用務②母子事務…自立支援医療(育成医療)給付事務・養育医療・調定事務
衛生研究所、管理栄養士として(県内調査(母子関連・健康づくり・栄養等)の集計・解析、結果やその活
用について講師(保健所等対象)等
保健所業務
本庁、健康づくり担当者(企画主査)

- ①健康づくり事業(健康日本21、県健康増進計画のポピュレーションアプローチ部分等、歯科を除く)
 ②特定健診・保健指導全般(制度、協議会・事業実施など)③食生活改善指導員連絡協議会の育成・支援に関すること④特定給食施設指導⑤特別用途食品や栄養表示等に関する業務全般⑥臨地実習に関すること⑦栄養・健康づくり表彰に関すること

保健所における栄養改善・健康づくり・歯科保健

県保健所栄養士

- ①病院の栄養給食業務の安全管理・衛生管理に関すること②調査・研究に関すること③栄養士・調理師・学生等の指導に関すること④栄養管理に関すること

国保健診係に異動し、特定保健指導以外の保健指導が主な業務

- ①特定給食施設等の栄養管理指導②ポリオ等の予防接種事務③調理師・栄養士・管理栄養士免許
 ④インフルエンザの予防接種事務⑤健康増進法に基づく、誇大表示や栄養成分表示の指導⑥国民健康・栄養調査

病院で主に給食管理を担当

- ①特定給食施設に関する業務(巡回指導・報告書・その他講習会等企画立案)②栄養表示施設に関する業務(表示違反・誇大広告の指導・外食栄養管理推進事業)

本庁行政栄養士

保健所の栄養士

- ①保健所②栄養改善業務(健康づくり)

健康増進担当

- ①地域保健医療計画の進行管理②健康づくり事業③学生実習・臨床研修医の受け入れ等

保健福祉事務所・副技幹

行政栄養士

病院における栄養管理業務

育休中(公衆栄養、前回と同じ)

- ①保健所栄養士として、特定給食施設指導②地区組織育成・栄養表示基準にかかる業務③市町健康づくり計画の評価支援など。

施設で入所者の栄養管理と自立支援を行っている。

保健所にて①健康づくり事業全般②栄養関係

Q2. 修了生の現在の職務遂行にとって、本研修は役に立っているか

1 たいへん役に立っている	28(59.6%)
2 役に立っている	15(31.9%)
3 どちらとも言えない	3(6.4%)
4 役にたっていない	1(2.1%)
5 全く役にたっていない	0(0.0%)

Q3. 管理栄養士への研修内容として今後強化したほうがよい項目

- ①健康危機管理時の栄養・食生活支援②健康栄養調査等の企画・評価
 栄養アセスメント、統計、栄養調査、分析、解析
 行政能力の強化

栄養改善に止らず、統括的な視点で、地域の健康づくり運動を分析し、推進する力をつけられるような事。

①地域連携のためのコーディネイト(市町、医師会等関係機関・職種間をつなぐ役割として)②行動変容を促す保健指導③健康危機管理事の食生活支援について

特定保健指導の場合でも、食事と検査値、服薬の内容などは密接な関わりがある。数字に踊らされることなく、「人」を見る目を養っていけるような内容を取り入れていただきたい。今だに「たんぱく質が足りない」とか「嫌いでも我慢して食べる事」など「人」を「人」としてみない指導が横行している。

疫学・統計・プレゼンテーション力

①企画立案②保健統計・疫学→研修終了後、仕事内容の幅が広がったように思います。

事業評価方法や、課題解決に向けた検討方法(ケースメソッドやSWOT分析その他)などの実践的な手法習得。

企画・調整、現状把握や課題分析の演習に加え、対人サービスに関するコーチングやカウンセリング技術、行動変容に関する技術演習やケーススタディ等の演習方法(人材育成の方法支援)等があればいいなと思う。

他の職種と協同していく教育必須。

他職種との連携のとり方、どうしても管理栄養士本位の考え方をする職員が多すぎる。

①企画立案②保健統計、疫学

地域の連携

企画・立案の能力強化

研修目的にある地域診断や、公衆栄養計画・実施・評価まで担うコーディネイト機能は、今後ますます管理栄養士に求められるものである。保健所に勤務する行政栄養士だけではなく、市保健センター、保育・教育部門等にも広げ、効果的な施策立案、実施、評価が実施しやすくすることも必要だと思う。

①統計処理②給食施設指導③健康危機管理対策(栄養関係)

①給食施設指導の実際(法的根拠に基づいている事業なので、強化)②調査などの評価と結果の見方、事業への生かし方。

①データ分析②コーチング

統計のとり方、国栄や県民栄養調査の設計方法について、現状分析と評価方法について

地域診断と、それに伴う施策作り

①健康危機管理に関すること(災害時の栄養・食生活)②食品表示の具体的指導内容について

①医療機関立入の実際②介護保険における行政栄養士の役割

①企画立案能力②情報収集と課題抽出能力

個を見ることを強化した方が良い。病態を理解し、個別指導をすることで、集団へのアプローチがわかると思う。

①災害時の対応について②法律についての考え方

コーチング関係

一人で事業の計画から評価まで行う方法

公衆栄養診断・計画・評価

①健康づくり計画・食育基本計画策定支援

地域診断から計画・評価について

計画・施策・作成・評価など

栄養管理の必要な対象(地域住民・入所者・入院患者等)の状態を把握するためのデータ収集の方法とデータの解析とそれに対応した業務の立案能力を強化すべきだと思う。

今までの業務や経験で地域へのかかわりは勉強してきたが、今、職域とのかかわりで苦慮している。そのあたりの研修を希望します。

Q4.本研修を他の人に勧めたいか

1 強く勧めたい	28(59.6%)
2 勧めたい	15(31.9%)
3 どちらとも言えない	3(6.4%)
4 勧めたくない	0(0.0%)
5 絶対勧めたくない	0(0.0%)

勧めたくない理由

絶対勧めたくない理由

Q5. 科学院の研修全般へのご意見をお聞かせください

ステップアップ研修(修了者の)があるとよい。

健康増進法第32条関係の研修を行って欲しい。危機管理対応。

全国から集まった同職種が共に学ぶことができる貴重な研修機会と思っております。この研修で横のつながりができ、日常業務にも還元できています。

単発的な個人のスキルアップ研修にとまることなく、フォローアップ的な研修や実践を積み重ねるなどして、最終的には形をなす実績としてまとめあげられるような企画にさせていただけたらありがたいです。

今後、地方財政はますます厳しくなる中での貴重な研修です。佐賀県は2年に1回(一人)の出席ですが、栄養・健康づくり関係の新しい情報収集研修の場として、期待しています。

非常に有意義で楽しい研修でした。目からウロコというか、視野が大きく広がった気がします。

一人体制が多い管理栄養士が、研修に出ることは、きわめて困難であり、長期となると、職場の理解と、他所への体制など、ハードルが高い。15年来の希望をし、今回参加でき、本当に感謝しています。他の方にもすすめたいのですが、やはり体制の問題で出にくいことが現状です。2週間を前期と後期に分けるとか、夜間などの対応をして下さると多くの方が参加しやすいと思います。

再教育の場としても、ぜひ研修を続けて欲しいです。

最新情報と共にいろいろな手法も学べることができ、大変良い研修だったと思います。実践的な手法等については地域(ブロックごと)でも開催があるといいなと思います。

最新の知見を第一人者の講師の方々による研修プログラムはとても有意義だと思っています。参加できる機会がもっと増えればと思います。

自分の職種に固執する企画・視点ではいけないと思います。研修修了生がそうであるとは言いません。

公衆栄養コース以外は本庁担当者向けのものが多い。しかし、本庁勤務のものは議会対応等で復命する暇がない現状がある。

再教育の場としても、ぜひ研修を続けて欲しいです。

とても良い内容だったが、講義が続くと集中力が途切れてしまう為、話し合いと織り交ぜていただければと思います。

保健所に在籍し、健康づくり・生活習慣病対策・栄養改善指導・母子保健・歯科保健・食育等々の業務を通して、関係機関の支援・指導を担い、的確にコーディネートできる人材ではあったが、研修受講により更に知識や考え方が整理され、業務の推進に自信を持って、活動できている。当研修が一人でも多くの管理栄養士が受講可能なシステムが必要と考える。

お世話になりありがとうございました。

最新の情報を最前線の方々から学べるのが良い。

期間が長く、なかなか参加は難しいのですが、今回、参加できたことは、自分にとってスキルアップや仲間作りの良い機会となりました。ありがとうございました。

研修期間が短いともっと参加しやすいと思う。国民栄養調査や県民栄養調査に関する研修を随時取り入れて欲しい。県型の管理栄養士の研修の場を定期的で開催していただけると良い。

知識・技術の習得には、必要な研修だと思います。ぜひ、今後も継続していただきたいです。

行政栄養士として、長期研修を基礎として、短期研修をステップアップ研修の位置づけで実施していただければと思います。

公衆栄養について、1週間程度の研修期間のものを望む。

短期の研修を希望します。

①専門的ないろいろな内容があり、受講してみたいものも多いが、仕事との兼ね合いで、参加しにくいものが多い②通信教育みたいなものが、いろいろあれば…と思います。

①継続をお願いしたい②eラーニングの検討をお願いしたい。

短期間コースも数多く計画して欲しい。

研修に参加したことにより、エビデンスの重要性や理論だてて考える必要性を身につける事ができ、そのことはどの職場においても重要なことであるため、とても良い研修であったと実感しています。この研修がなければ、管理栄養士の質の向上は困難であると思います。大変だとは思いますが、継続して開催されていくことを切望します。本当にお世話様になりました。

市町の栄養士や民間の施設に勤務する栄養士も研修を受ける機会を与えてほしいので、全国をいくつかのエリアに分けて巡回研修などを企画していただくとありがたいです。

研修主任の評価、分析、コメント

現在の職務遂行に「役立っている」は9割強、「他の人に勧めたい」も9割強である。強化項目として、現在の地域診断、地域栄養計画・評価に同意する意見はおおいものの、危機管理、コーチング、カウンセリング、他職種との連携もあがっている。国民・県民健康栄養調査に関する研修希望意見もある。